

令和3年度 第1回富里市図書館協議会 会議録

富里市立図書館

- 1 期 日 令和3年7月14日(水)
開会 午後3時00分
閉会 午後4時45分
- 2 場 所 富里市立図書館研修会議室3
- 3 出席委員 会 長 長 嶋 英 治
副 会 長 高 橋 正 名
委 員 秋 葉 利 恵
委 員 市 川 真 琴
委 員 阿 部 日 香 里
委 員 斉 藤 宏 樹
委 員 中 村 美 智 子
委 員 渡 邊 義 幸
委 員 長 谷 円
- 4 出席職員 教 育 長 吉 野 光 好
図 書 館 長 越 川 義 幸
図 書 館 武 藤 弘 之
図 書 館 小 倉 康 志

令和3年 8 月 3 日

署名人

秋葉利恵



署名人

市川真琴



1 開会

【事務局】令和3年度第1回富里市図書館協議会を開会する。

2 あいさつ

【教育長】あいさつ

3 辞令交付

教育長から委員9名に辞令が交付された。

4 会長及び副会長の選任

会長に長嶋英治委員、副会長に高橋正名委員が選任された。

5 議事録署名人の指名

秋葉利恵委員と市川真琴委員が指名された。

6 協議事項

【会 長】(1)の令和2年度図書館事業報告について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会 長】質問や意見があれば願います。

【委 員】2ページ「ブックトリップ～本の旅～」について、達成した子ども
の人数を令和元年度のものと比較すると、人数で300人、比率
で約30%の増となっている。

コロナ禍の中でこれだけ数値が伸びたことについて、どのように
分析されているのか伺いたい。

また3ページ「親子おはなし会」についても、同様の比較で1回
あたりの参加人数が倍程度の伸びを示しているので、どのような分
析をされているのか併せて伺いたい。

【事務局】ブックトリップの達成者が増加した理由について、例年は子ども
たちがリストにある本を読了後、当該本の内容に対し、図書館職員
等が質問を行い、内容を正しく理解しているか確認を行っていた。

その上で、正しい回答ができた段階で初めて達成するといった形
式で実施していたものである。

前年度は、コロナ禍の中で対面での質問を行うことは適当でない
との判断から、子どもたちより当該本の読了の旨の申出を受ければ、
達成を認める申告制としたことから達成者数が伸びたと思われる。

親子おはなし会の人数の伸びについては、事務局としては分析を行っていないが、図書館ツイッター等で事業の周知が奏功した結果、人数の伸びにつながったものと思われる。

【委員】偶発的に、人数が多く集まった回があったということはないか。

【委員】おはなし会は、開催日の天候や、おはなしを聴く子どもの他に、保護者が赤ちゃんを連れてくるといったような、特定の回だけ人数が集まるといったことは実際にある。

【会長】他に質問がないようであれば、次の議題に移りたい。

【会長】(9)の令和2年度図書館事業について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会長】質問や意見があればお願いします。

【委員】ギガスクール事業にて、市内の児童生徒にタブレット端末の貸与を行っており、秋頃を目途により貸与した端末を自宅に持ち帰って使用する予定であると聞いている。

その持ち帰った端末を用いて、子どもたちと図書館司書が本や調べものの相談はできないか。

イメージ的には、各課の問い合わせ的なもので、子どもたちからの質問に司書等が回答するといった、学習支援的なコンテンツができることが望ましいと考える。

学校司書とは平日に対面で直接話を聞く機会があるので、土日や休日にも同様のものがあると良いのではないか。

市内全域での取り組みが難しければ、モデル校を選定して実施するといったことも可能だと思うがどうか。

【事務局】子ども向け事業の推進は、当館が取り組むべき課題である。

ギガスクール事業は、タブレット教材による学習をメインに開始したところである。

本の相談等については、今後事業が発展していく中で検討したい。

【委員】職員の体制について確認したい。

本年度は昨年度より2名の減とのことだが、具体的な人数について教えていただきたい。

また、組織として一班体制とのことであるが、奉仕業務を行う読書推進班が総務的な業務を行っていると考えて良いか。

【事務局】職員数について、昨年度10名であったものが、現在は8名となっている。

前年度までの体制としては、『奉仕班』『庶務班』の二班体制であったものが、本年度は『読書推進班』の一班体制に移行している。

昨年度までは『庶務班』が施設管理の他、庶務全般を担当していたが、本年度は『読書推進班』で庶務、施設管理、奉仕業務を合せて行っている。

【委員】 本当に厳しい状況であると推察する。

昨年度からコロナ関係の対策等もあり、どの図書館においても職員の疲弊している状況が見られる。

富里市においても、コロナ禍で、様々な制約があるなか、図書館が提供できるサービスを懸命に取り組んでおり、職員の皆さんは、さぞ苦勞されていることと思う。

一年ぶりに富里市立図書館を訪れたが、入館して、まず初めに掲示物がきれいになっていると感じた。

また書架についても、ボランティア等の努力で整えられており非常に感動した。

このような取り組みを、コロナ禍においても実践していることを評価したい。

いわゆる読書バリアフリー法が施行された中で、『障害のある子どもに配慮された本』といったリストを作成することも良いと思う。

今後も障害者サービスの充実が図られることを期待したい。

別件になるが、現在入り口を駐車場側の1ヶ所のみに行っている理由を伺いたい。

【事務局】 入館者の検温を行うにあたり、入り口が2ヶ所となると人員を2名配置することが困難なことから、入り口を制限している。

常時の人員配置が難しい状況のため、限られた時間帯にはなるが、今後も継続して検温を実施したい。

【委員】 委託料の予算額が昨年度より増加している理由を伺いたい。

【事務局】 委託料の増額について、本年度が委託業務の期間満了に該当し、それに伴う入札予定額の計上等の影響による増額である。

【委員】 光熱水費の電気量について、電気料金は全庁を通しての一括管理とのことだが、節電を意識し照明を絞ることが過ぎるのは、図書館の魅力を減じることとなるので留意願いたい。

資料費の推移について、棒グラフと折れ線グラフの2種のグラフで推移を示されている。

棒グラフは決算の数字と思うが、折れ線グラフは何を示している

か伺いたい。

【事務局】表している数値は棒グラフと同じものになる。

グラフを併用して示したものであるが、結果的に解りづらい資料になったことは申し訳ない。

【委員】昨年度も指摘したが、県内においても富里市の資料費は少なく会議資料にあるように類似団体の中でも、最低額の予算額である。この予算額で充実した図書館サービスの実施は難しいと考える。貸出冊数と資料費の推移を併せて見れば、数値の下落はリンクしており、図書館は新鮮な図書がなければ来館者数は減少することがはっきりと表れている。

富里市の財政状況が厳しいことは承知しており、教育費自体も厳しい予算額であることは承知している。

それでもまず始めに資料費の増額をお願いしたい。

【事務局】ただ今、委員より指摘のあった資料費の減と入館者数の減は比例するものであると認識している。

財政部局の方には予算要求は行っているが、財政状況は依然厳しく、なかなか増額が難しいことから大きな課題である。

【事務局】今年度事業として、資料展示として日本大学との連携事業である利用者間で読了後のレビューを繋いでいく『読書駅伝』や、普段、閉架書庫で保管されている本を集めて展示する『書庫本展示』を行っている。

開架スペースに限りがあり難しい面もあるが、現在は約450冊の規模で『書庫本展示』を行い、利用率としては全体の内33%といった高い割合での利用がある。

今後は学校司書との連携を進めることで、更なる利用率の向上ができるように考えたい。

【会長】他に質問がないようであれば、次の議題に移りたい。

【会長】(1)のその他について説明願いたい。

【事務局】配布資料に基づき説明を行う。

【会長】質問や意見があればお願いします。

【委員】来館者に限らずアンケート調査を行うことは非常に良い取り組みである。

来館者にアンケート調査を行うことも重要であるが、当該利用者の満足度が高いから図書館を利用するのは当然であり、来館者を対

象として満足度調査を行えば、高い満足度が集計結果として現れるものと思う。

今回のアンケートはインターネット上で行うことから、こういった結果が出るか興味深いところであるが、普段図書館を利用しない市民等に対しても回答可能なアンケートにするのであれば、例えば、どうして図書館を利用しないのか、といったような視点での項目も必要だと思うので検討願いたい。

【事務局】現時点で、設問の修正等は可能なので、検討させていただきたい。

【委員】このアンケートは、どのサイトで行う予定か。

【事務局】図書館ホームページに掲載しての運用を予定している。

また図書館ホームページは利用しないが、図書館には来館するといった利用者層については、QRコードを付した館内掲示物で対応を予定している。

【委員】市役所ホームページへの掲載についてはどうか。

【事務局】市役所ホームページに、図書館ホームページへのリンクを張るといった対応が可能である。

【委員】アンケートについては、去年も実施しているとのことであるが、経年との比較は可能か。

【事務局】今回のアンケートが従前、紙媒体で行っていたものからインターネットでの形式による媒体の変更や、今回のアンケートで新規に設問の追加を行っていることから、経年比較は難しいと考える。

【会長】他に質問等なければ以上で議事を終了とする。

7 閉会

【事務局】令和2年度第1回富里市図書館協議会を閉会する。